

会社の概要

|           |                                  |
|-----------|----------------------------------|
| 商 号       | JTラスト株式会社                        |
| 資 本 金     | 536億44百万円                        |
| 設 立       | 1977年3月                          |
| 〒105-0001 |                                  |
| 本 社 所 在 地 | 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号<br>虎ノ門ファーストガーデン |
| 電 話 番 号   | 03-4330-9100(代表)                 |
| 事 業 内 容   | ホールディング業務                        |
| 連 結 従 業 員 | 2,516名                           |

役員

|                 |         |
|-----------------|---------|
| 代表取締役社長 最高執行役員  | 藤 澤 信 義 |
| 代表取締役専務 執行役員    | 千 葉 信 育 |
| 専務取締役 執行役員      | 足 立 伸   |
| 常務取締役 執行役員      | 明 珍 徹   |
| 取締役 執行役員 経理部長   | 常 陸 泰 司 |
| 取締役 執行役員 経営企画部長 | 黒 川 真   |
| 取締役 執行役員 経営企画部長 | 西 川 幸 宏 |
| 取締役 執行役員 人事総務部長 | 飯 森 義 英 |
| 取締役 執行役員 財務部長   | 熱 田 龍 一 |
| 取締役 執行役員 経営企画部長 | 山 中 威 人 |
| 取締役(社外)         | 五十嵐 紀 男 |
| 取締役(社外)         | 水 田 龍 二 |
| 取締役(社外)         | 金 子 正 憲 |
| 取締役(社外)         | 石 坂 匡 身 |
| 常勤監査役(社外)       | 山 根 秀 樹 |
| 常勤監査役           | 井 口 文 雄 |
| 監査役             | 井 上 允 人 |
| 監査役(社外)         | 小 島 高 明 |

株主メモ

|                     |                                                                                                            |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                | 毎年4月1日から翌年3月31日まで                                                                                          |
| 期末配当金受領株主確定日        | 毎年3月31日                                                                                                    |
| 中間配当金受領株主確定日        | 毎年9月30日                                                                                                    |
| 定時株主総会              | 毎年6月開催                                                                                                     |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1<br>電話 0120-232-711 (通話料無料)                               |
| 同連絡先                |                                                                                                            |
| 単元株式数               | 100株                                                                                                       |
| 上場証券取引所             | 東京証券取引所                                                                                                    |
| 公告方法                | 電子公告とし、当社ウェブサイト(https://www.jt-corp.co.jp/)に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由により、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |

- 【ご注意】
- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次いたします。
  - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをご提供いただく必要がございます。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

[主な支払調書]

- ・配当金に関する支払調書
- ・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

【マイナンバーのご提供に関するお問い合わせ先】

証券会社の口座にて株式を管理されている株主様  
-----お取引の証券会社にお申し出ください。  
証券会社とのお取引がない株主様  
-----三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。

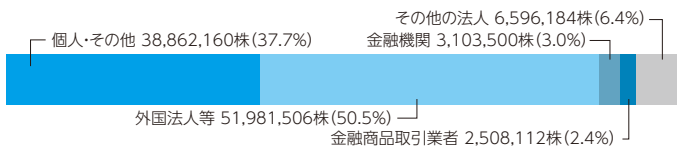
株式の状況

|          |              |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 240,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 112,649,910株 |
| 株 主 数    | 15,117名      |

大株主 (上位10名)

| 株主名                                                         | 株式数(株)     | 持株比率(%) |
|-------------------------------------------------------------|------------|---------|
| FUJISAWA PTE. LTD.                                          | 26,697,872 | 25.9    |
| 藤澤 信義                                                       | 12,009,372 | 11.7    |
| TAIYO HANEI FUND, L.P.                                      | 5,628,700  | 5.5     |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY<br>505019               | 4,584,300  | 4.4     |
| TAIYO FUND, L.P.                                            | 3,968,600  | 3.9     |
| GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL                                 | 3,259,690  | 3.2     |
| 西京リース株式会社                                                   | 2,890,000  | 2.8     |
| MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON<br>COLLATERAL NON TREATY-PB | 2,000,000  | 1.9     |
| ジャパンポケット株式会社                                                | 1,780,000  | 1.7     |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社<br>(信託口9)                              | 1,489,100  | 1.4     |

所有者別株式分布状況



(注) 持株比率ならびに所有者別株式分布状況は、自己株式数(9,598,448株)を控除して算出しております。

第42回  
定時株主総会のご報告

株主総会質疑応答ご紹介

Q 今後の株価について

A インドネシアのマルチファイナンス会社やカンボジアの銀行の取得が合意に至り、東南アジアにおけるリテール事業を拡大していく足掛かりができました。今後は組織体制を整えていきながら業績を伸ばし、株価向上を図っていく所存です。

Q 役員の株式保有状況について

A 常勤取締役のうち、2名が3月末現在株式を保有しておりますでしたが、現時点では両取締役とも株式を保有しております。両取締役は他の取締役より会社情報を知り得る立場にいるため、取得には慎重を期しておりました。

株主の皆様へ

主力の金融事業は日本順調、韓国好調であり、当面は東南アジアの立て直しに注力



代表取締役社長

藤澤 信義

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年3月期中間期の営業利益は前年同期比99%減益の25百万円となりました。セグメント別にみると、日本金融事業が順調に推移したほか、韓国及びモンゴル金融事業が好調でした。しかし、JTラスト銀行インドネシア(BJI)における貸倒引当金繰入額の増加などから、東南アジア金融事業が24億円のセグメント損失を計上したことが響きました。

BJIにつきましては、不良債権が増加するなど経営悪化の兆しがみえましたので、対応策を打ちました。新たに選任した代表取締役が、審査部門の体制や仕組みを見直し、回収の強化に取り組んでいるほか、人員の見直しを含めた経費削減も進めています。

一方、ノンバンク事業のノウハウを持つことが当社グループの強みですので、BJIと10月に子会社化したJTラストオリンピンドマルチファイナンスとのジョイントファイナンスによる融資戦略を推進します。農機メーカー等との提携も既に開始しており、ノンバンク事業の活用を柱にした成長戦略により、東南アジア金融事業を立て直していきます。

3月のアドアーズの株式売却に続き、10月にはハイレイツ・エンタテインメントの株式等も売却し、経営資源の選択と集中をさらに進めました。今後も企業価値の最大化に向けて取り組んでいきますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月27日(水)に第42回定時株主総会を開催いたしました。ご出席いただきました株主の皆様には改めて御礼を申し上げます。いただきました貴重なご意見は、今後の経営の参考にさせていただきます。

〔定時株主総会の動画はこちらに掲載しております。https://www.jt-corp.co.jp/ir/jstock/state\_info/〕





# Jトラストグループ東南アジア金融事業のご紹介

銀行・債権回収会社・ファイナンスカンパニーの三位一体の総合金融サービスで  
持続的成長を図ります。

Jトラストグループは、韓国金融事業で確立した三位一体のビジネスモデルを、東南アジア金融事業においても展開していきます。銀行、債権回収会社、ファイナンスカンパニーの各社に経験豊富な経営者を送り込み、総合金融サービスを提供することで、経済発展著しい東南アジアでの持続的な成長を図ります。

## Jトラスト銀行インドネシア

Jトラスト銀行インドネシア(PT Bank JTrust Indonesia Tbk. 以下BJI)は、東南アジア最大の人口を有するインドネシアのジャカルタに本店を置く商業銀行です。当社グループは2014年にBJIを取得して以来、経営基盤の強化、店舗や人員の整理など、リテール銀行としての再建を進めています。

2018年9月に開催された臨時株主総会において、日本、シンガポール、インドネシアの上場企業において取締役や理事の経験を持つ浅野樹美がBJIの代表取締役役に選任されました。他行との差別化戦略により、BJIの再建に注力していきます。



President Director  
浅野 樹美



臨時株主総会の様子

### Column

Jトラストオリンピンドマルチファイナンスとの協業によるリテール債権の拡大や、フィンテック企業との提携等を軸に、差別化を図る戦略を進めます。

## Jトラストオリンピンドマルチファイナンス



PT OLYMPINDO MULTI FINANCEの  
株式取得調印式の様子

## ファイナンス 業務

新商品の農機  
ファイナンスの取扱いを  
開始しました

当社グループは、2018年10月、PT OLYMPINDO MULTI FINANCEを子会社化するとともに、社名をJトラストオリンピンドマルチファイナンス(PT JTRUST OLYMPINDO MULTI FINANCE 以下JTO)に変更しました。JTOは、インドネシア全土で40の本支店を展開しているほか(2018年9月現在)、オートローン業界の老舗として自動車ディーラー業界との豊富なネットワークを有しています。インドネシアのマルチファイナンスカンパニーの中には、資金調達に苦労しているケースも見受けられますが、JTOの場合は同じグループに銀行を持っている強みを活かした事業拡大を図っていきます。

また、JTOには、日本と韓国において金融事業や海外現地法人のマネジメント経験が豊富な松岡和幸を社長、日本とインドネシアの金融業界で20年以上の経験を持つ神々輝彦を副社長として派遣しました。当社グループのブランド力のもと、新商品の農機ファイナンスの取扱いを既に開始しており、事業の拡大を図っています。



President Director  
松岡 和幸



Vice President Director  
神々 輝彦

## 債権回収 業務

BJI以外の金融機関に対する  
不良債権買取営業にも  
注力します



日本のサービスノウハウをインドネシア  
で展開

## Jトラストインベストメンツインドネシア

Jトラストインベストメンツインドネシア(PT JTRUST INVESTMENTS INDONESIA 以下JTII)は、不良債権の回収に特化した会社として2015年に設立されました。2018年1月より、社長には、日本・韓国・インドネシアの3カ国の金融業界で25年以上の経験を持つ債権回収の専門家、楠生佳彦が就任しています。

JTIIではこれまでBJIから不良債権を買い取り、その回収に注力してきました。不良債権を分離することによるBJIの財務健全性の向上とインドネシアにおけるJTIIの債権回収ノウハウの蓄積がその主な狙いです。今後は、こうしたグループ全体の成長戦略への貢献を視野にいれつつ、BJI以外の金融機関に対する不良債権買取営業にも注力し、この分野におけるインドネシアでの先駆者となることを目指します。

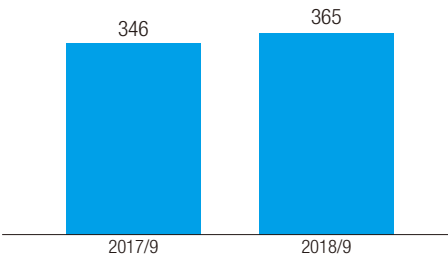


President Director  
楠生 佳彦

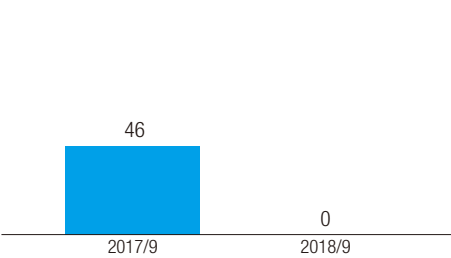
## 業績ハイライト (2019年3月期第2四半期累計)

営業収益は、韓国における利息収益の増加等から前年同期比6%増収の365億円。しかし、営業利益は、韓国とインドネシアにおけるIFRS第9号適用に伴う貸倒引当金繰入額の増加等による営業費用の増加が響き、同99%減益の25百万円となった。また、親会社の所有者に帰属する四半期損失は、遊技機等の開発・製造・販売事業からの撤退に伴う損失計上等から、21億円。

### 営業収益 (単位：億円)

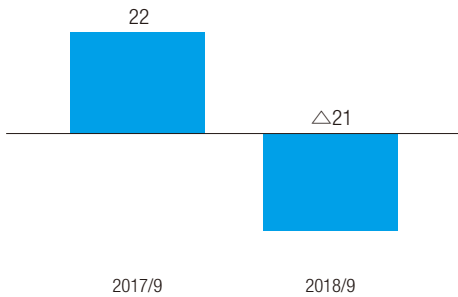


### 営業利益 (単位：億円)

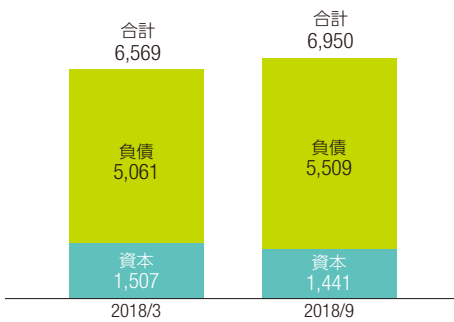


※2018年3月期において、アドアーズを、当第2四半期連結累計期間において、ハイライツ・エンタテインメントを非継続事業に分類しています。そのため、2018年3月期第2四半期の関連する数値については、組替えて表示しています。

### 親会社の所有者に帰属する四半期利益(損失) (単位：億円)



### 負債及び資本合計 (単位：億円)



### 営業収益構成比(2019年3月期中間期) (単位：%)

